

コ 5 ク 9 ロー 6 サン 3 ハート通信

VOL. 95

竹原運輸株式会社

発行日 令和2年5月15日

★事務所スタッフからの一言



皆様、いつもお世話になりありがとうございます。日頃は格別なるご厚意を賜り、心より御礼を申し上げます。

まずは、このような状況の中で業務につかわれている皆様、本当に心より感謝、激励を申し上げます。ありがとうございます。

また緊急事態宣言による自粛で、ご苦勞されている皆様、本当にお疲れ様です。私も外出が本業であり、好きな方ですのでこの自粛は疲れます・・・。

さてこの状況で感じたことについて今回はお話しします。

テレワーク、オンライン会議など、業務のデジタル化が加速しました。10年ぐらいかけての社会変化が、一気にきてしまった、という感じです。

しかし、商いの本質は変わっていません。それは

「モノが売れた」のではなく、「人が買った」という人の行動であるということ。

人が欲しいモノ、人が買いたい場所、人が付き合いたい人、人が行きたい店など、すべては人の選択です。人がどう感じて、何を思い、どう動くのか？

そこに着目すれば、やることは見えてきます。それは

「人とつながること」

こんな時だからこそ、つながっている人や店に行きたくなります。このハート通信も皆様と、心を通わせてつながることが目的です。

そのために、日頃から技術を磨き、精進をして少しでも皆様のお役に立てるよう努力を続けていくことが大事だと感じました。これからもよろしくお願い致します。 竹原 和行

新たな生活様式

前回のハート通信 3月号では、

『挨拶日本一を目指し、全社員に元気で明るい挨拶を徹底していきます。』

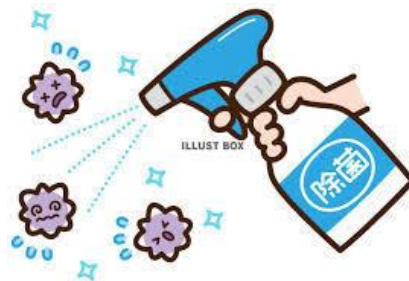
と書きましたが、新型コロナウイルスによる感染防止対策により、今まで通りの行動が取りにくくなりました。

必要最低限の接触、人との社会的距離を保つ、会話はなるべく控える等、飛沫がかからないよう行動する中では、相手に印象の良い『明るく元気、大きな声』での挨拶は出来にくい状況になりました。

又、毎日の朝礼では「職場の教養」を輪読していましたが、これを取り止め、挨拶実習や生活習慣の唱和を3回のところを1回のみにして実施しています。

得体の知らない厄介なウイルスが、普段の生活に大きな影響を与えています。今後の感染予防を考慮した中での社会的な行動変容に対し、当社も順応していくべく、社内の色々なものを見直しています。

社長 竹原正和



<体調管理>

中国の武漢（？）が発端の新型コロナウイルス感染症が、あっという間に世界的に大流行になってしまい、国内でも前例がないほどの「緊急事態宣言」が発令され入国制限や各種のイベントの中止、休校があり社会をあらゆる面から揺さぶっています。ワクチンや特効薬の無い新型コロナウイルス感染症に「かからない」「ひろげない」ために1人1人の行動が大切であるのだと言って各県の首長が自粛しましょうと懸命に呼びかけても、どれだけ注意しても感染の広がりを防ごうとしない若者を含めた人達が多数いるというのが、まったく寂しい思いがしてなりません。

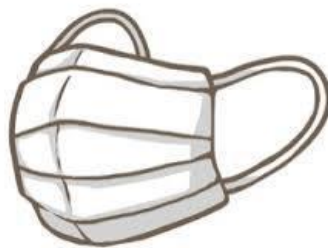
その中で当社はいち早くTOP自ら率先して感染予防策を取り、全社員に対してマスクの配布（3回目配布）、手洗い場には手ぬぐいからペーパータオルに変更。消毒液、赤外線式自動体温計を備え、味覚、臭いに変化はないか、出庫する前にチェックをして記録を残すように改善をし、誰でもが記入した数値を「見える化」して感染予防対策に真剣に取り組んで着ております

「3密」拡大3条件が同時に重なる場に於いてはクラスター（集団感染）が発生しやすいと国の専門会議で分析され発表されるとすぐに対策の一環として、当社にとって一番大切な行事である安全大会（4月26日開催）の中止を素早く決定し、諸会議、ミーティングはすべて中止及び短縮する防止策を取り飛沫感染をしない策も取って来ました。

当社はこのようにドライバーを守るために神経質になりすぎるぐらい、体調管理には気を使って現在もおります。

今年度3月17日付にて、福井県内にて「健康経営宣言事業所」の中で福井県知事より53事業所が優秀事業所として当社が選抜され「ふくい健康づくり実践事業所」として認定を受けることができました。この様にドライバーの健康をしっかりと守っております。これから梅雨時期が近づくと我々の敵である暑さの入口に向かっていきます。日々休むことなく、食中毒、熱中症等の対策を、例年のとおりしっかりと従業員の体調管理をしながら、なお一層社員全員が一弾となって安全運行に努めてまいります。

斉藤 洋一



転びました。久しぶりに転びました。普通に転びました。

気が付いたら目の前に地面があつて。。。「大丈夫？」の声にとにかく恥ずかしくてその場から立ち去りたい感情が先になって小走りで逃げるように去りましたが。。。

右腕と右膝、右の足先に激痛。人目のないところでうずくまって痛みを耐えておりましたが、恐る恐る右足のズボンをたくし上げると膝が見事に擦り剥けて出血。「ハ〜っ」高校生の時にバイクで転倒して擦り剥いたことを何故か思い出しておりました。

じわじわと右腕から手首にかけて経験したことのない痛みを襲われました。最近、レベル（年齢）51になり「こんな事が起こるんだな」と自業自得と納得させましたが痛みは治まらず苦しい午後を過ごしました。その日は会社で重要な会議がありましたので会議中は内容に集中していたのか、さほどでもなかったのですが、帰り道です。自動車の運転が辛くて痛くてたまりません。

「そういえば。。。道中に中学の同級生が開業した整骨院があつたな。。。」夜の7:00を過ぎていたのですが、明かりが点いておりました。

「すみません。初めてなんですけど診てもらえますか」と尋ねると「どうぞ」と快く診察室へ入れてくれました。その時は「この先生ホントに同級生かな？」と半信半疑でしたが、「ケガされたんですか？」の問いに「憶えてるか？7組やった池上やけど」。

二人の間に沈黙があり40年ぐらいの記憶が蘇り「おーっ 池ちゃん」（小学生から高校までだいたい池ちゃんだった私）「どうしたんやの〜？突然来て。」って…

「久しぶりやの〜すごいがし〜開業して〜」って言いながらケガしたで来たんやし、整骨院なんてだいたい突然来るもんやろと思ひながら（笑）すがる思いで「何とかしてくれ」と痛さのアピールをしました。中学のときの仕返しをされるかとビビっておりましたが、彼は優しく手当してくれました。

右手首の腱を傷めたらしく、固定してくれました。手当のおかげで随分楽になりましたが今もまだ痛みと闘っております。一日おきに通院しておりますが、あの手この手で治療してくれて安心です。「手当」って文字通り、痛いところに手を当てることなんだなと同級生に感謝しているところです。



池上則和

今年のゴールデンウィークは好天に恵まれましたが、私は外出自粛により外に遊びに行けなくて、有り余る元気を発散できないでいる孫の Mr. パーカー Jr (仮名) 5 歳を、いつもより遠出の散歩に連れ出しました。行先は私の母校の小学校と、福井駅の恐竜広場です。40 数年ぶりに小学生の時に通った通学路を、パーカー Jr と手を繋いで歩いていくと、車では見えていない景色が見えて、確かここに友達の家あったのに無くなったなあとか、集団登下校で道草をした場所など、その頃の記憶の引き出しが勝手に開いて、いろいろな記憶が蘇ってきます。20 分程歩いて道を挟んで小学校の前に架かる歩道橋に来ると、パーカー Jr は一気に駆け上がり、すでに向こう側にいます。私はゆっくり上り始めると、小学生の時に毎朝渡っていた歩道橋は赤錆だらけの手すり、階段のコンクリートもボコボコでしたが、50 年以上ずっと児童の事を見守ってくれているのだなあと思うと感慨深いものがありました。

正門を抜け、敷地内に入ると校舎は変わらず同じ場所に建っていて、グラウンドの様子も昔とさほど変わってなく、4 年生くらいの時に鉄棒で前回りの練習をしていて、顔から落下し泣きながら帰った鉄棒も、放課後に校舎の裏でみんなとアメリカザリガニを取っていた小川も未だにあることに涙が出るほど感動しました。しばらくベンチで座り、ボーっとしていたかっただのですが、さすがにパーカー Jr はそれを許してはくれず、早く恐竜広場に行こうとせがまれ母校を後にしました。その後はパーカー Jr に連れられて、恐竜広場で走り回り、帰り道にあった小さな公園で遊具を満喫し、二人ともへろへろになりながら家に戻ってきました。

孫の為にと思っての散歩でしたが、小学校時代のいろんな記憶を蘇らせ、感動と興奮を思う存分味わい、ゆっくりとした時間の流れを楽しみながら、とてもリフレッシュすることができた私にとって最高の 1 日となりました。

来週もまた行きたいとパーカー Jr は言っていたそうですが、暫くはそっとしておいてほしい今日この頃です(笑)



大橋 哲夫

いつもお世話になりありがとうございます。
テレビのニュース等で、少しずつ非常事態宣言の緩和が報道されているのを見かけます。
まだまだ原因が解決されない中での緩和という事なので元通りとはいきませんが、少しずつ外出が増えると思われまます。
例えば、朝の通勤時に集団登校や自転車に乗った学生が戻って来るでしょう。そのうえで時差を付けて登下校となると、朝から晩まで通学する子供たちに注意が必要になります。
しかも子供たちはストレス（なにかしら我慢して家にいた状態）から解放されテンションが高いかも知れません。
少々遠回りでも通学路や生活道路を避けることで、リスクが減らせると思います。安全運転は常時必要で皆さんお気を付けられているとは思いますが、呼びかけると効果があると信じて色々な機会に人に伝えたいと考えています。助言やご意見を聞くことで自分のレベルアップも期待しています。

辻川 伸吾



パワースポットと呼ばれる特別な場所は国内にも海外にもあります。そこに行くことでエネルギーを得られる、あるいは癒しを得られることから、観光の名所となっているところも多いです。神社や教会などの宗教施設はパワースポットの代表格。例えば神社なら伊勢神宮や明治神宮などの有名な社はパワーの威力も強そうでご利益を期待できそうですね。
また、森や山・海や滝などの大自然、神話に由来するような土地などにもパワースポットは多いです。富士山や屋久島などが有名ですね。そのパワースポットに行くと元気が出たり心が浄化されてリフレッシュできたりするような場であれば近くの公園は自分にとってパワースポットという言い方ができます。
その他にもSNSの普及により色々な人が色々な場所・パワースポットをインターネットにあげていたりして、多種多様にパワースポットがあります。
今はコロナ感染症の影響でなかなか外に出歩くこともできません。でも、またもとの生活に戻った時に色々調べて訪ねてみるのもいいかも知れませんね。
コロナ感染症が収束してまた新たな生活が始まった時に、今までと同じような生活ではなく、今までと何か変化したような生活になっていくのではないかなと思います。
変化変化の連続でストレスが溜まったり精神的に疲れてしまったりする事もあるかも知れません。その時に、是非パワースポットに行っておエネルギーをもらったり癒しを得たりして息抜きをするのが良いかもしれませんね。

谷口 学

青葉が輝く季節とはなりましたが、いかがお過ごしでしょうか
特に今年のゴールデンウィークは外出もままなりませんでした。
桜咲く時期には桜が咲き、今は水田に苗が植えられてツバメも飛び回り、季節変わりを見て感じる事しか出来ませんでした。
一日でも早く初夏の陽気で外に出たい気持ちがありますが、まだもう少し抑えて、安心して生活出来る日を、皆様と一緒に待ちたいと思います。

越 邦治

いつもお世話になっております。新型コロナウイルスの影響で皆様大変な思いをされていると思います。

我が社は、テレワーク出来ない職種なので、今までと生活パターンはほぼ同じです。ただ、週1回介護施設に母（お義母さん）に会いに行っていましたが、新型コロナウイルスの影響で病院と同じく面会が出来なくなりました。早3ヶ月過ぎようとしております。施設へ会いに行ける日まで元気で、私達のことを忘れずにいてくれる事を願うばかりです。こんなに長く顔を見せなかったことはなかったので。（認知症の為、あんたら誰やと言われなにか心配です☹️）

早く終息し、いつでも面会出来る時が来ることを願っています。皆様もお体をご自愛下さい。



吉川佳代

コロナウイルス感染症が流行して学校が休校になり3ヶ月・・・夏休みよりも長いお休みです。我が家の唯一静かな時間は早朝だけです。（3人が夢の中なので）中学3年生の僕も反抗期がまだなのかよくしゃべります。

ゲームをしはじめたし静かかな？・・・部屋から笑い声やしゃべり声が・・・「えっ！」自粛が長くてついに独りで喋る様になったのかと思って部屋を覗くと、友達みんなと通信しながらゲームをしていました。敵と戦いながら、くだらない話もしながらとても楽しそうです。しかしゲームをきりなくするので携帯の向こうのお友達にも聞こえるように「お風呂の時間やわぁ」とか「ゲーム時間終わりやわぁ」とわざと大きな声をかけています。

僕はというと…無言でうなづいて苦笑いしています(笑)。

早く学校が始まって外で思いっきり遊んでほしいものです。



水谷 有基
次回もお楽しみに・・・